

# 先行き不透明な時代の必須能力

## ー自己実現力ー

今の時代は「先行き不透明で予測困難」という意味で「VUCAの時代」『Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）』と言われています。予期せぬ災害やコロナ禍、世界情勢などは、まさにそれを裏付けるものでしょう。

こんな時代に、ただ受け身で思考停止状態になっていては変化に翻弄されるだけです。

予期せぬ変化は「予期せぬ業績拡大のチャンス」を生み出します。コロナ禍での巣籠需要をチャンスとして業績を上げた企業がよい例でしょう。しかし、受け身ではそのチャンスを掴むことはできません。

ますます「主体的に自分の頭で考える」人材の育成が急務と言えます。貴社では下記のような問題はないでしょうか。

若手社員では	<ol style="list-style-type: none"><li>1. “素直で真面目”であるが、主体的な姿勢が弱い。</li><li>2. 失敗を恐れて、高い目標にチャレンジしないので、成長が遅い</li><li>3. 自ら試行錯誤せず、すぐに“正解”を求めるので、応用がきかない</li><li>4. できる人でも周囲から突出することを避けるので、全体のレベルアップにならない（いつも横並び）</li><li>5. 好奇心が弱く、仕事も人間関係も表面的な理解にとどまる</li></ol>
中堅社員では	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 仕事は卒なくこなしているが、「もっと上」を目指していないので、成長レベルが停滞している</li><li>2. 上下左右への働きかけが弱く、中核的存在（組織を動かす）になれない</li><li>3. リーダーの役割を避けたい（ワンランク上の仕事をして欲しいのだが）</li><li>4. 視野が狭い（自分の仕事、自分の会社だけ）</li><li>5. 次のリーダー候補がいつまでたっても出てこない</li></ol>
ベテラン社員では	<ol style="list-style-type: none"><li>1. とにかく“現状維持”で、周囲の成長から見ると実質的にレベルダウンしている</li><li>2. “変化をチャンス”と捉えられないので、業績拡大の機会を逃し、後手に回る（例：マンネリで長いお付き合いの顧客を失う）</li><li>3. 問題意識「だから改革しよう」ではなく、単なる不満「言っても仕方がない」（しかし、周囲に愚痴をこぼす）で、後輩たちに悪影響を及ぼしている</li><li>4. 危機感がなく、いつも“6割の力”しか出せていない</li><li>5. 必ずやってくる「終わり」（ビジネスパーソン人生としての）を真剣に考えていない。そのため、長いキャリアで培ってきたものを会社の財産（様々なノウハウの蓄積など）として残していない</li></ol>

上記の問題に共通することは「もっと～したい」「未だ実現していない～を実現したい」という**自分の頭で考えた“想い”（ビジョン）がない**ことです。

弊社の「自己実現力強化研修」は、ビジョン（希望）を持つことの意義をさまざまな角度から腑に落とし「**自分の頭で考え、行動を変える**」ことを目的としています。

周囲から強制されて「自分の頭で考える」ことはできません。自分が「なりたい」「したい」ことを主体的に考える研修です。また、受講対象者（若手、中堅、ベテラン）の違いによって、カリキュラム内容も異なります。さらに、貴社の事情に合わせてオリジナルな研修を提案いたします。

興味・関心のある方は下記からお問い合わせ下さい。

> お問い合わせはこちら

